

平成 22 年度

事業計画および収支予算

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

一般財団法人練馬みどりの機構

平成 22 年度事業計画

I 基本的な考え方

平成 21 年 4 月 1 日に一般財団法人として設立して、新しい第一歩を歩み始めました。さらに、平成 22 年 4 月には都市緑地法に定められた「緑地管理機構」として指定を受けることとなりました。

この「緑地管理機構」の制度は、民間団体や市民による自発的な緑地の保全、緑化の推進を図るためにつくられました。この指定によって、練馬みどりの機構は、今後、練馬らしいみどりの代表である、憩いの森等の緑地の管理運営を多くの区民や事業者といっしょに協働して進めていくことが可能となります。「緑地管理機構」としての役割を果たすには、これまで以上に、地域の中で森をめぐって人と人を結び付けていくことが必要不可欠です。このためには、森に対する思いだけでなく、具体的に活動を進める人材の発掘や養成が求められ、あわせて運営体制の強化を図ることが重要な課題となります。

さらに、「協働」の理念に基づいて会員制度を持って活動することが、一般財団法人としての当機構が持っている大きな特徴です。平成 22 年度からは、会員種別等も新しい制度として確立し、多くの区民の方に参加しやすい形となり、会員的大幅な拡大で当機構のすそ野を広げ、活動の活発化を進めることも求められています。

また、これまでの活動や事業を継続するとともに、会員による新しい活動の充実や運営の円滑化・柔軟性を図っていくための仕組みづくりが求められています。

- ・ 普及啓発やPR活動の充実

練馬らしいみどりを区民・事業者・練馬区と協働して守り育てていくために、葉っぱい基金の募金活動、お祭り、イベントおよび事業活動などあらゆる機会を通してのPR活動やホームページの充実を図り、広く区民に親しまれるものにします。

また、会員の主体的な参加によるさまざまなプロジェクト活動を充実し、これらの活動を通して、他の団体との連携を深め、人材の拡充、会員の拡大を進め、機構活動の基盤強化を図ります。

- ・ 会員に対する情報発信

会員が主体となって、ニュースレターなどの広報誌を随時発行する体制づくりを進める一方、ホームページの拡充を図り、活動の状況をリアルタイムにお知らせし、会員の活動への積極的な参加を求めるよう努めます。

- ・ 受託事業の推進

機構活動の財政的な基盤の充実と練馬のみどりに貢献する新しい活動を展開するため、積極的に受託事業に取り組みます。

- ・ 事務局体制の整備

機構活動や事業運営の円滑化および機動力強化のため、事務局体制の整備充実を図り、あわせて公益法人化を目指すため、会計処理事務などの確立を進めます。

II 事業計画

1 みどりの保全・育成・活用に関する事業

- ・ 石庭みどり講

「石庭の森緑地」の運営管理を地域の方々に組織された「石庭みどり会」と連携して取り組むとともに、既存樹木や植物などを利活用し、緑地の楽しみ方についてさまざまな企画・運営を地域と一体になって取り組みます。

- ・ 落ち葉プロジェクト

練馬らしいみどりを守るためには、落ち葉が迷惑とならないような工夫が必要です。そのためには、公共施設はもちろん民有地にある大切な保護樹林や保護樹木、社寺林の落ち葉とうまくつき合わなければなりません。区が行政の立場でできることには限界があります。特に民有地の落ち葉清掃などに直接関わることは困難です。

当プロジェクトでは、練馬区の「みどり 30 推進計画」で進めている落ち葉のリサイクル事業に取組み、落ち葉の収集から腐葉土づくり、さらに腐葉土の有効活用について、JAとも連携し、農地への還元について検討し、落ち葉から野菜作りまでのリサイクルの輪を確立していくことを目指します。

また、広く区民に参加を求める、落葉ツアーなどの行事を企画・運営する活動を積極的に行い、落ち葉が自然からの贈り物ということをアピールしていきます。

- ・ 森を楽しむプロジェクト

緑地管理機構として指定を受け、これから憩いの森などの管理・運営を具体的に進めるため、今年度は「松山憩いの森」を中心に、運営の実際を体験し、機構として取り組んでいくため人材の発掘や養成を進めます。

2 みどりの普及啓発と調査研究に関する事業

- ・ 森のカルテづくりプロジェクト

憩いの森や保護樹林などは、もともとの自然林ではなく屋敷林の裏山や農用の二次林として、長い間所有者や地域住民により日常的に管理されてきたものです。戦後、利用されなくなり、現在では遷移が進行して「荒れた」状態になっています。このような練馬に残る森は、自然に任せて放置すれば保全されるものではなく、新たに地域の方々によって利用され、管理される必要があります。

これらの森は、今後機構が緑地管理機構として取り組んでいくものです。このため、森の現状について区民と一緒に樹木・草花・昆虫や野鳥などを調べ、地域とともに森の利活用や管理について検討を進め、区民とともに管理してゆく指針を取りまとめます。

- ・ みどりめぐり隊プロジェクト

屋敷森・雑木林そして農地など、23区内でも有数のみどりを誇る練馬。これらのみどりの素晴らしさ、大切さを実感してもらうため、「練馬のみどりめぐり」活動を充実します。

- ・ 結婚出生記念苗木配布事業

結婚や子どもさんの誕生を祝い、一人でも多くの区民の方々が、みどりへの関心を持っていたけりよう苗木の配布事業に取組みます。

3 「練馬区みどりを育む基金(愛称:練馬みどりの葉っぱい基金)」に関する事業

- ・ お祭り、イベント
 本年度は、以下のお祭りを予定（詳細は未定。他団体等との協議を必要とします。）しており、そのほか区主催のイベントなどで葉っぱい基金の募金活動を行います。
- ・ 他の団体との連携を強化し、基金や機構活動のPRに努めます。
- ・ 企業との連携等を視野に、基金拡大に向けた検討を行っていきます。

	イベント名	開催日	会場	イベント内容等
1	第4回竹のこまつり	4月17日	おくらやま憩いの森	竹のこ掘り、竹細工、竹炭、竹のこ料理
2	夏のフェア'10	7月31日	花とみどりの相談所	セミの羽化を見る夕べ
3	第2回葉っぱい こまつりin立野公園	8月1日	立野公園	竹とんぼ飛ばし大会、竹細工 立野公園の見どころ案内など
4	第33回練馬まつり	10月17日	練馬総合運動場	ポット苗・草花の販売
5	ねりまグリーンフェスティバル'10	10月24日	花とみどりの相談所	竹細工・ポストカード販売
6	葉っぱいまつり	11月14日	関区民センター	ミニコンサート・郷土芸能 ウォークラリー 体験コーナー

4 みどりの福祉・教育等に関する事業

- ・ 農とのふれあいプロジェクト
 機構の参加するイベントなどで、練馬の野菜を生産している農家の方々と消費者の区民をつなぐ「農家との語らいを楽しむ会」を開催していきます。また、石神井公園ふるさと文化館に移築された古民家を活用して、練馬で行われていた年中行事など農文化とふれあう事業を進めます。
- ・ 福祉連携緑化事業
 みどりの持つ効用は多様です。福祉施設と連携して、花壇の草花を植えることは、彩り豊かな草花で施設来園者を和ませるだけでなく、ボランティアスタッフと作業に携わる高齢者や障害者の心身の健康増進効果を期待することもできます。区内の福祉施設などと連携し、福祉施設利用者やボランティアスタッフが、草花を花壇などに植える事業に取り組めます。
- ・ 体験学習イベント
 森のカルテ作り事業などと連携し、区民を対象に、憩いの森等で動・植物の体験学習を企画します。
- ・ みどりの応援団プロジェクト
 「親子でみどりを学ぶ」をテーマに充実を図ります。

5 その他の事業

- ・ みどりネット
 機構がみどりに関する活動のプラットフォームになるよう、活動団体の情報収集及び整理を行います。
- ・ みどり30推進計画に関する活動
 みどり30推進計画を実現するために、機構より具体的な提案・提言を行い、プロジェクトとして具体化を目指します。

平成22年度収支予算

収入の部

(単位:円)

	科 目	予算額	前年度予算	増減額	備考
1	会費収入	770,000	1,020,000	▲ 250,000	
	正会員	500,000	600,000	▲ 100,000	250名×2,000円
	賛助会員(個人)	120,000	120,000	0	賛助会員(個人) 40名×3,000円
	賛助会員(団体)	150,000	300,000	▲ 150,000	賛助会員(団体) 15団体×10,000円
2	事業収入	24,240,000	23,065,800	1,174,200	
	受託事業(5件)	23,940,000	22,665,800	1,274,200	
	イベント関連	300,000	400,000	▲ 100,000	
	企業等協力金	0	0	0	
3	補助金	18,247,000	11,885,000	6,362,000	
	機構運営費補助金	18,247,000	11,885,000	6,362,000	区からの補助
4	その他の収入	30,000	3,930,530	▲ 3,900,530	
	寄付	30,000	3,930,530	▲ 3,900,530	
			0	0	
5	前期繰越収支差額	6,500,000	0	6,500,000	
6	当期収入合計	49,787,000	39,901,330	9,885,670	

支出の部

(単位:円)

	科 目	予算額	前年度予算	増減額	備考
1	事業費	18,000,000	21,161,000	▲ 3,161,000	
	みどりの保全・育成・活用事業	650,000	746,000	▲ 96,000	石庭みどり講
		4,500,000	6,500,000	▲ 2,000,000	落ち葉プロジェクト
		1,500,000	1,200,000	300,000	森を楽しむプロジェクト
	みどりの普及啓発と調査・研究事業	50,000	50,000	0	みどりめぐり隊
		4,300,000	4,500,000	▲ 200,000	森のカルテづくり
		3,600,000	3,065,000	535,000	記念苗木配布
	「練馬区みどりを育む基金」支援事業	700,000	1,000,000	▲ 300,000	イベント関連
		20,000	20,000	0	売上より基金へ
	みどりの福祉・教育等に関する事業	50,000	100,000	▲ 50,000	農とのふれあい
		200,000	50,000	150,000	体験学習
		100,000	150,000	▲ 50,000	みどりの応援団
		2,000,000	2,950,000	▲ 950,000	福祉連携緑化
	みどりのまちづくりに関する事業	30,000	30,000	0	
	みどりの活動情報ネットワークの構築	200,000	500,000	▲ 300,000	みどりネット
	自主事業運営費	100,000	300,000	▲ 200,000	

	科 目	予算額	前年度予算	増減額	備考
2	管理費	28,240,000	18,656,318	9,583,682	
	人件費	16,964,000	13,992,118	2,971,882	常勤職員3名、非常勤1名 うち区補助金充当額 9,664,000円
	評議員等報酬	204,000	204,000	0	評議員会2回×6名×10,000円 理事会3回×14名×2,000円
	会計事務委託料	400,000	300,000	100,000	
	光熱水費	160,000	160,000	0	
	電話料等	350,000	350,000	0	電話・FAX・プロバイダー通信
	事務機器賃料	554,000	554,000	0	PC・プリンタ
	旅費交通費	30,000	30,000	0	
	通信費	300,000	300,000	0	
	警備委託料	230,000	230,000	0	
	清掃委託料	60,000	60,000	0	
	保険料	100,000	100,000	0	
	事務所移転費	2,140,000	0	2,140,000	
	事務所賃貸料	4,381,000	0	4,381,000	
	車両維持費	200,000	200,000	0	
	備品等購入費	200,000	300,000	▲ 100,000	
	租税公課	87,000	86,200	800	法人税・印紙
	会議費	20,000	20,000	0	
	消耗品費	950,000	560,000	390,000	
	諸会費	50,000	50,000	0	
	交際費	30,000	30,000	0	
	広告宣伝費	800,000	1,000,000	▲ 200,000	葉っぱい通信4回発行 啓発パンフレット発行
	支払手数料	30,000	30,000	0	
	創立費	0	100,000	▲ 100,000	
3	緑地管理事業用積立金	3,500,000	0	3,500,000	
4	予備費	47,000	50,000	▲ 3,000	
5	当期支出合計	49,787,000	39,867,318	9,919,682	
6	次期繰越収支差額	0	34,012	▲ 34,012	